

地域懇談会意見まとめ（星田小学校区）

1 事前アンケートより

現状	強み
<ul style="list-style-type: none"> ● 自治会の加入率が低く、加入したことがない、近所との付き合いがほとんどないと答えた人の割合が他校区に比べて高い ● 福祉への関心が低いのは、情報がない、自分が何をすればいいかわからない、という回答が多い ● ボランティア活動への支援については、情報提供・活動先の紹介等が求められている ● 災害時や治安など地域の安全・安心に関して重要だと考えている人が多い ● 地域の人材活用や世代間交流等、多分野・多世代のつながりに関することへの満足度が低い ● 忙しくて時間が取れないこと、健康に自信がないことが地域活動への参加の支障となっている ● 友人・知人、隣近所など、周囲の人に相談したり手助けを求めている人の割合が減っている ● 福祉に関心があるが、何をすればいいかわからないという人が多い ● ボランティア活動をしたことがある人は3割程度で、活動に関する情報提供を多くの人が望んでいる ● 犯罪をした人の立ち直りへの協力をしたいと思う人が少ない理由として、接し方がわからないという人が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ● アンケートでは約97%以上の人が居住地区を暮らしやすいと感じており、住み続ける予定という人も約9割いる ● 町内会行事などの地域活動に参加意向がある人は8割以上いる ● 参加や手助けができると思う活動では、見守り活動・災害や防災対策の割合が高い ● 福祉に関心がある人については、特に高齢者・子ども・認知症に関する福祉に関心が高い ● 子どもの登下校の見守り等、安心して暮らせる地域に関する項目への満足度が高い ● 子どもに関するボランティア活動・助け合い活動の経験がある人、関心がある人が多い ● 地域の行事やまちの清掃活動といった地域での交流に関する満足度が比較的高い ● 成年後見制度や再犯防止に関する制度等の認知度が上がっており、啓発活動の効果がみられる ● 福祉に関心がない人でも、居住地域での地域美化活動や災害・防災対策には参加できると答えている人が一定数いる

2 あったら良いな・できたらいいな

「あったら良いな・できたらいいな」としていただいた意見の内容を整理しました。

地域のつながりと見守り	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの登下校の時間帯の見守りをボランティアに頼るだけではなく、仕事として見守りやパトロールをする人も雇ってほしい。 →保護者にも協力してもらおうほうが良いのでは？ ・交野市が実施している種々のサポートを一覧表にまとめ、各々の窓口を紹介するリストを作成・公開する。 ・孤独死する人を減らせたらいいな。民生委員ばかりに負担をかけられない（孤独死） ・共働きが増えてきているので無理なく見守りができたらいい →ラジオ体操など時間を合わせてみるとか ・ひとり住まいの高齢者の名簿を作成する（元気な方、少し手助けが必要な方など印を付ける） ・それぞれが自分の家の3軒隣りまでを把握しておく ・回覧板が回っていることで安否確認できる。回っていない地域は地域全体で把握する ・地域の高齢者とこども園の園児との交流を増やす ・防災訓練で安全に避難できていたら、目印をつける→目印で安否が分かる仕組み ・星田北の住民の参加。自治会館を新しく作るか、既存のものに参加できたらいいな ・古い自治会と新しい自治会が一緒にできたらいいな
地域のつながりと困りごとを抱える人	<ul style="list-style-type: none"> ・循環バスの復活（見守りにもなる） たくさんの方が使える目的で設定 ・旧出張所の利用ができたらいい ・認知症についての教室の開催（認知症に対する知識を住民に広める） ・サロン（喫茶）の開催を継続 ・開催場所などのバラエティを増やせたらいいなのでは？ ・絆ステーション、ゴミ屋敷の片付けなど、元気アップ体操、サロンを継続 ・社協への依頼などを会でふりわけ

	<ul style="list-style-type: none"> ・横のつながりを大切にする→星田に関わる4校区（旭・星田・妙見坂・藤が尾） ・回覧の告知を見ても共に福祉に活動してくる人を探していかないと、次が見えない。まず、参加してもらい、共に活動
地域のつながりと安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・向こう3軒両隣りの意識を広める ・見守り。気になる子の情報共有をする ・普段の繋がりが実体験時に発揮出来る。繋がりが大事 ・SNSにたどりつける方法を考える
地域で育ち地域を愛する（郷土愛）	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者（施設内の方、個人）と子どもたちとの交流があればいいな ・いきいきサロンを通じて子ども達と高齢者との交流が出来たらいい ・物々交換の場、バザーなどを開催 ・社会参画の機会をつくる ・地域の特産品を作った物（みかん）を販売する ・地域の清掃をみんなで行う ・あいさつ運動を推進する ・野菜の販売（学校の畑）をする ・居場所作り。鍵っ子をどこかで見守ってあげることが必要 ・集う場や自己表現出来る場があればいいな ・星田公園をもっと新しい形で利用できたら。（サマーフェスだけではもったいない） ・星田出張所（旧）の有効利用
地域に住む人・働く人の強みを活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙で民生委員、青少年指導員、保護司等の活動のPRをする ・それぞれの委員の活動を総会などで紹介する ・特技をもっている人をすくい上げる（音楽、お話、スマホなど） →学校にも教えに来てもらう（マッチングすれば） ・昔あそびに使うタコを竹から作れる人がいる ・福祉施設での介護知識を生かし、防災時にできることなどの講座を開き、講演できたらいいな ・学生が4年間、交野市で在住している間に地域ボランティアとして活躍できる場や関わりができればいいな→SNSを活用する ・地域の中年層が活動するだんじりのメンバーなどに早いうちから地域の活性化のため声を掛けていく。 ・星田北を早くシステム化する ・何丁目というごとに、掲示板があれば良い ・町の情報が見れる所があれば良い

3 これからできそうなこと

「あったら良いな・できたらいいな」の意見を踏まえ、自分たちが「これからできそうなこと」としていただいた意見の内容を整理しました。

地域のつながりと見守り	<ul style="list-style-type: none"> ・会館をたくさん活用できるようにする ・豆まき・祭りなど行事への参加のきっかけ作りをする ・若い世代の参加が必要なので声をかける ・スーパーのタイムセールを下校時間に合わせてもらう ・区民の人に意識をもってもらう（回覧などで啓発など） ・向こう3軒両隣を意識できるよう働きかける
地域のつながりと困りごとを抱える人	<ul style="list-style-type: none"> ・乗りやすいバス賃の設定、バス券の発行などを行う ・認知症の当事者の話を聞く機会をつくって地域住民の理解を深める ・独り暮らしになったら、できるだけ外に出て交流の機会をもってもらう ・困っている人の情報を頂けたら見守りもできる ・福祉教育を進めていく ・明星ホームさんから、地域のサポートもしていただけるとお言葉があったので頼る ・地域と福祉施設が共に困りごとの情報共有をする ・子どもや年輩者と一緒に遊べるようなトランプ、モルック、ポッチャ、輪なげをする ・気づいた困りごとを情報提供できるよう窓口をつくる（相談窓口）
地域のつながりと安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・体験型の出前講座、福祉教育を行う ・見守り活動を引き続き行う ・忙しい保護者が安心出来る場、こどもが避難出来る場、世代間交流出来る場をつくる
地域で育ち地域を愛する（郷土愛）	<ul style="list-style-type: none"> ・フレンドタウン、星田駅前商店街等でイベント（バザー等）をする ・忙しい年代の人たちが興味を引くイベント開催。 ・拠点となる場を作ることが出来るかな ・地域の方とこどもたち、世代間で集うことが出来る場をつくる ・自由に出入り出来るような場の設置 ・自分がしてもらった事を大きくなった時に今度はしてあげる ・働く男性や年代へのアピールをする ・歴史のある場所をめぐるスタンプラリー（地域の良さを知ってもらう）を継続する ・校区による紙しばいなどの復活 ・商店街とのコラボ ・中学生、高校生に協力をしてもらう ・コミュニティスクール（地域の人と交わることができれば良い）
地域に住む人・働く人の強みを活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクールと地域との連動をさせる ・親と子どもの様子を外から見れる（PTAに参加しても見れない） ・小、中学校にもっと催し等イベントの発信をお願いする